

年

組

番

名前

解答

1 次は、娘が生まれたねずみの夫婦が、娘のために婿むこを探す「ねずみの婿取り」という【昔話】です。ただし
 のもとになった古文のまま書かれています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【昔話】

ねずみの、むすめをまうけて、娘のためにすばらしい婿を迎えようと思いました。ねずみは、世の中を照らしている太陽がすばらしいと思い、太陽を訪ねました。ところが太陽は、「私は、世の中を照らす力はあるけれども、雲によってその力もなくなってしまふ。雲を婿にしなさい。」と言いました。そこでねずみは、雲のところへ行きました。すると雲は、「私は、太陽の光を隠す力はあるけれども、風に吹かれると飛ばされてしまふ。風を婿にしなさい。」と言いました。そこでねずみは、風を訪ねると、風は、「私は、雲を吹き飛ばすことはできるけれども、土塀とどべいがあるとどうしようもない。土塀を婿にしなさい。」と言いました。そこでねずみは、土塀に会いに行きました。そして、これまでのいきさつを話すと、土塀は、「私は、風ではびくともしないけれども、ねずみにかじられたらひとたまりもない。」と言いました。さては、は何にもすぐれたるとて、を婿にとりけり。

(注) 土塀とどべい：土でぬり固めてつくった壁。

1 線部「まうけて」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

答え

もうけて

2 【昔話】の中の二つの

には、同じ言葉が入ります。

に当てはまる言葉を【昔話】の中から探し、抜き出なさい。

答え

ねずみ

年

組

番

名前

1 次は、娘が生まれたねずみの夫婦が、娘のために婿むこを探す「ねずみの婿取り」という【昔話】です。ただし の中は【昔話】のもとになった古文のまま書かれています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【昔話】

ねずみの、むすめをまうけて、娘のためにすばらしい婿を迎えようと思いました。ねずみは、世の中を照らしている太陽がすばらしいと思い、太陽を訪ねました。ところが太陽は、「私は、世の中を照らす力はあるけれども、雲によってその力もなくなってしまふ。雲を婿にしなさい。」と言いました。そこでねずみは、雲のところへ行きました。すると雲は、「私は、太陽の光を隠す力はあるけれども、風に吹かれると飛ばされてしまふ。風を婿にしなさい。」と言いました。そこでねずみは、風を訪ねると、風は、「私は、雲を吹き飛ばすことはできるけれども、土塀つとべいがあるとどうしようもない。土塀を婿にしなさい。」と言いました。そこでねずみは、土塀に会いに行きました。そして、これまでのいきさつを話すと、土塀は、「私は、風ではびくともしないけれども、ねずみにかじられたらひとたまりもない。」と言いました。さては、は何にもすぐれたるとて、を婿にとりけり。

(注) 土塀＝土でぬり固めてつくったへい。

1 線部「まうけて」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

答え

2 【昔話】の中の二つのには、同じ言葉が入ります。に当てはまる言葉を【昔話】の中から探し、抜き出さなさい。

答え